

100歳おめでとうございます

10月に満100歳を迎えた人に、市長からのお祝い状とお祝い金が贈られました。



安武 君子さん
大正5年10月20日生



武藤 節さん
大正5年10月22日生
※本人のご希望により写真は掲載していません。

子どもたちの心の復興を願って 合志市子ども会ソフトボール震災復興大会

10月10日、市総合運動公園で第1回合志市子ども会ソフトボール震災復興大会が行なわれました。

これは、熊本地震の影響を受けた子どもたちの心身の復興を目指して市子ども会と各チームの監督が開催したものです。第一小校区、中央小校区、新開・みずき台、群から5チームが参戦。秋晴れの強い日差しにも負けない子どもたちの笑顔と元気は、会場を明るく活気付け、復興の兆しを示しているかのようでした。



参加した子どもたち。優勝は中央小校区の子ども会でした

パワフルに活躍 全国シニアソフトボール古希大会で優勝

9月26日、高知県で全国シニアソフトボール古希高知家大会が開催され、黒石区で活動するS C熊本が優勝しました。これは68歳以上が出場する大会で、全国から57チームが参加。S C熊本は68歳から73歳のメンバー15人が出場し、激戦を勝ち抜きました。

「他県の人との交流を楽しみに活動しています」と話す代表の前田勇さん（南須屋）。今後出場する別の全国大会でも優勝を目指したいと抱負を語りました。



今後もパワフルなシニアの活躍にご期待ください

喫煙マナーの向上と環境美化を目指して 菊池たばこ販売協同組合が清掃活動

9月21日、菊池たばこ販売協同組合（村山政義西合志理事）が、西合志庁舎周辺とユウパレス弁天周辺の清掃活動を行ないました。

この活動は、喫煙マナーの向上と環境美化を目的に毎年行なわれているものです。集まった組合員は、タオルを首に巻き汗をかきながら2時間ほどかけてたばこの吸い殻やペットボトル、空き缶などのごみを拾い集めました。



菊池たばこ販売協同組合の皆さん

東日本大震災から学ぶ子どもの心のケア 青少年教育特別講演会

10月21日、合志中学校で市青少年育成市民会議とPTA連絡協議会が主催する講演会を開催しました。

「熊本地震による子どもの心のケア」という演題で、東日本大震災から5年間子どもの心のケアに携わってきた福島県あさかホスピタルの本間博彰医師が講演。自身の経験をもとに「子どもの話をしっかり聞いて、辛抱強く寄り添うことが大切」と語り掛けると、約400人の来場者は真剣な表情で耳を傾けていました。



保護者の目を見て熱心に語る本間さん

ウォーキングしながら地域貢献 防犯ベストで犯罪が起きにくいまちづくり

10月20日、松浦信久さん、みきさんご夫婦（永江団地）が、ウォーキング時の防犯ベストの着用を始めました。これは、市教育委員会がことし7月から始めた防犯ベストの無償貸与を利用した取り組みです。

松浦さんはベストを着用し、週3日程度歩いています。「暗い時間帯はベストの反射材が役に立つ。これから地域の防犯に貢献したい」と話す松浦さん。ベストの貸し出しについては生涯学習課へお尋ねください。



ベストを着て地域をウォーキングする松浦さんご夫婦

みんなの散歩道を歩きやすくしたい 榎ノ本区が除草ボランティア

10月9日、榎ノ本区の有志14人が堀川側道の草刈りを行ないました。これは、地域住民の散歩道となっている側道を歩きやすい環境にしようと、5月～10月の間、月に1回行なっているボランティア活動です。

3年前の開始時から徐々に協力者が増え、現在は23人が登録。世話人の小西淑子さんは「ありがたいと声を掛けてもらえることがうれしい。みんな、地域の役に立ちたいという思いでやっています」と話しました。



「みんなが気持ちよく歩けるように」と汗を流す榎ノ本区の皆さん

本市から中学生2人の出場が決定 ジュニアオリンピック陸上競技大会

10月6日、合志中学校3年の佐々木実優さんと西合志南中学校2年の石川泰盛さんが市長を訪問し、10月28日から神奈川県で開催される第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会への出場について報告しました。

「これまでの練習の成果を発揮して、全国大会でもベストを尽くしたい」と意気込みを語る2人。佐々木さんは中学3年女子100mと共通女子4×100mリレーに、石川さんは中学2年男子走幅跳に出場します。



佐々木さん（左）と石川さん（右）。全国大会でも頑張ります！